



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社サクスバー ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9990 URL <http://www.sacs-bar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木山 剛史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 山田 陽 (TEL) 03-3654-5315
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	27,673	8.4	2,365	10.5	2,380	10.6	1,474	19.6
27年3月期第2四半期	25,540	6.6	2,141	8.4	2,152	8.5	1,232	11.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,480百万円(20.0%) 27年3月期第2四半期 1,233百万円(11.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	50.06	50.04
27年3月期第2四半期	42.48	42.35

(注) 当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行なっております。これに伴い、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	35,037	22,689	64.6
27年3月期	34,377	21,915	63.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 22,651百万円 27年3月期 21,909百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,463	5.7	5,159	9.8	5,153	9.3	3,035	9.9	103.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	29,859,900株	27年3月期	29,859,900株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	401,710株	27年3月期	401,010株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	29,458,474株	27年3月期2Q	29,020,939株

(注) 当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき1.5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、上記の株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

平成27年11月18日(水)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の景気対策や日銀の金融緩和策等により企業収益の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続きましたが、中国の景気減速などにより先行きについてはやや不透明な状況となっております。

流通業界におきましては、雇用情勢や所得環境の改善の効果が期待されるものの、昨年4月の消費税増税や円安の影響等による物価上昇により消費者の購買行動はより慎重さを増し、個人消費は総じて低調に推移いたしました。

このような状況下で、当社グループは積極的な事業展開を進め、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,673百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益は2,365百万円(前年同期比10.5%増)、経常利益は2,380百万円(前年同期比10.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,474百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。以下の数値につきましては、事業部門内の取引消去後かつ事業部門間の取引消去前のものを記載しております。

<小売事業等>

小売事業については、積極的に28店舗の新規出店を行ない、店舗網の拡充に努めてまいりました。退店は9店舗となりました。

売上につきましては、既存店売上高が前年同期比101.8%となり、総じて堅調に推移しました。

カジュアルバッグは、人気アパレルブランドとの提携強化により前年同期比12.8%増と伸長しました。ハンドバッグは、プライベートブランドや提携ブランドが大幅に伸長し、同9.9%増となりました。財布・雑貨類のうち、財布は人気アパレルブランドとの提携強化等により同12.1%増となりましたが、雑貨はヒット商品がなく、同5.1%減となりました。メンズ・トラベルバッグは、メンズバッグは同11.3%増と好調に推移し、トラベルバッグは同4.4%増となりました。インポートバッグは同1.8%増となりました。

この結果、当事業部門の売上高は26,186百万円(前年同期比7.7%増)となりました。粗利益率は47.9%となり、販売費及び一般管理費率は39.5%となりました。

<製造・卸売事業>

製造・卸売事業については、商品開発に注力するとともに、営業力の強化により、売上の拡大を図ってまいりました。

この結果、当事業部門の売上高は1,693百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて659百万円増加し、35,037百万円となりました。これは主に、現金及び預金が401百万円減少、受取手形及び売掛金が344百万円減少した一方で、商品及び製品が518百万円増加、投資有価証券が301百万円増加、有形固定資産が289百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて113百万円減少し、12,348百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が97百万円増加、リース債務が149百万円増加した一方で、未払法人税等が90百万円減少、その他流動負債が265百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて773百万円増加し、22,689百万円となりました。これは主に、配当金736百万円の支払による減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益1,474百万円の計上等によるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.9ポイント増の64.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて401百万円減少し、4,702百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて742百万円収入が減少し、1,230百万円のプラスとなりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益の計上2,326百万円、売上債権の減少額344百万円であります。一方、主な支出要因は、たな卸資産の増加額552百万円、法人税等の支払額1,102百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて370百万円支出が減少し、809百万円のマイナスとなりました。主な支出要因は、新規出店及び改装等に伴う設備投資446百万円、投資有価証券の取得による支出306百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて827百万円支出が減少し、822百万円のマイナスとなりました。主な支出要因は、配当金の支払額734百万円、リース債務の返済による支出172百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、平成27年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,132,387	4,730,534
受取手形及び売掛金	3,872,624	3,528,479
商品及び製品	11,162,013	11,681,006
原材料及び貯蔵品	52,658	86,644
繰延税金資産	287,443	213,549
その他	174,967	364,706
流動資産合計	20,682,094	20,604,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,334,954	2,456,780
土地	1,269,656	1,269,656
リース資産(純額)	807,678	938,947
その他(純額)	492,528	529,197
有形固定資産合計	4,904,817	5,194,581
無形固定資産		
投資その他の資産	33,961	41,940
投資その他の資産		
投資有価証券	856,402	1,158,297
退職給付に係る資産	115,312	123,282
繰延税金資産	561,178	565,367
敷金及び保証金	6,675,892	6,784,449
その他	558,683	564,976
貸倒引当金	△10,387	—
投資その他の資産合計	8,757,082	9,196,374
固定資産合計	13,695,861	14,432,897
資産合計	34,377,956	35,037,819

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,271,381	4,368,943
短期借入金	30,000	30,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
リース債務	287,831	321,431
未払法人税等	906,959	815,965
賞与引当金	330,804	266,155
役員賞与引当金	39,600	7,000
株主優待引当金	15,000	—
その他	2,165,154	1,899,467
流動負債合計	8,146,731	7,808,963
固定負債		
社債	1,600,000	1,600,000
長期借入金	50,000	35,000
リース債務	618,045	733,881
役員退職慰労引当金	116,393	110,256
退職給付に係る負債	831,348	829,020
繰延税金負債	29,862	29,707
資産除去債務	605,269	624,913
その他	464,319	576,879
固定負債合計	4,315,238	4,539,658
負債合計	12,461,970	12,348,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,986,400	2,986,400
資本剰余金	4,569,597	4,569,597
利益剰余金	14,395,720	15,133,795
自己株式	△107,061	△108,575
株主資本合計	21,844,656	22,581,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,746	18,766
退職給付に係る調整累計額	45,658	51,303
その他の包括利益累計額合計	64,405	70,069
新株予約権	6,925	37,909
純資産合計	21,915,986	22,689,197
負債純資産合計	34,377,956	35,037,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	25,540,067	27,673,850
売上原価	13,542,021	14,549,155
売上総利益	11,998,045	13,124,694
販売費及び一般管理費	9,856,842	10,758,973
営業利益	2,141,203	2,365,721
営業外収益		
受取利息	3,908	4,153
受取配当金	539	1,569
受取保険金	3,126	1,072
受取手数料	6,359	8,463
受取補償金	7,047	11,130
その他	12,394	14,059
営業外収益合計	33,375	40,449
営業外費用		
支払利息	17,171	21,103
その他	5,253	4,068
営業外費用合計	22,424	25,172
経常利益	2,152,154	2,380,998
特別損失		
固定資産除却損	27,107	6,401
店舗閉鎖損失	25,062	14,052
減損損失	29,004	34,365
特別損失合計	81,173	54,819
税金等調整前四半期純利益	2,070,980	2,326,178
法人税、住民税及び事業税	778,066	784,745
法人税等調整額	60,106	66,886
法人税等合計	838,172	851,631
四半期純利益	1,232,807	1,474,547
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,232,807	1,474,547

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,232,807	1,474,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,479	19
退職給付に係る調整額	7,380	5,645
その他の包括利益合計	900	5,664
四半期包括利益	1,233,708	1,480,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,233,708	1,480,212
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,070,980	2,326,178
減価償却費	388,688	440,193
減損損失	29,004	34,365
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,825	△10,387
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,976	△64,648
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,200	△32,600
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26,921	△6,137
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,138	△2,328
受取利息及び受取配当金	△4,447	△5,723
支払利息	17,171	21,103
固定資産除却損	27,107	6,401
売上債権の増減額(△は増加)	1,103,846	344,144
たな卸資産の増減額(△は増加)	△660,920	△552,979
仕入債務の増減額(△は減少)	291,308	97,561
未払消費税等の増減額(△は減少)	131,320	△184,810
その他	△294,825	△276,324
小計	3,069,401	2,134,009
利息及び配当金の受取額	348	5,370
利息の支払額	△18,112	△21,110
法人税等の支払額	△1,111,393	△1,102,757
法人税等の還付額	32,408	214,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,972,652	1,230,255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社貸付けによる支出	-	△50,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△325,651	△446,562
有形固定資産の除却による支出	△3,940	△6,650
投資有価証券の取得による支出	△800,492	△306,204
定期預金の預入による支出	△50,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,180,083	△809,416
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△15,000	△15,000
割賦未払金の増加額	154,860	212,286
割賦未払金の減少額	△101,176	△111,741
リース債務の返済による支出	△155,785	△172,614
社債の償還による支出	△1,000,000	-
ストックオプションの行使による収入	5,994	-
配当金の支払額	△539,348	△734,110
自己株式の取得による支出	-	△1,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,650,455	△822,692
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△857,886	△401,853
現金及び現金同等物の期首残高	5,214,368	5,104,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,356,482	4,702,834

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報について記載しておりません。